

32. ライフル射撃競技実施要項

1 主 催 大分県高等学校体育連盟

2 期 日 令和 8 年 11 月 14 日 (土) 10 : 10 ~ 開会式
 11 : 00 ~ 競技開始
 11 月 15 日 (日) 9 : 20 ~ 競技開始
 15 : 00 ~ 閉会式

第1日目【11月14日(土)】

- 1) 9:00 ~ 10:00 公式練習 (当日競技のある選手のみ各30分)
- 2) 10:10 ~ 10:30 開会式
- 3) 11:00 ~ 13:00 A R 男子、AR 女子、B P 男子、B P 女子
- 4) 13:05 ~ AR 男女混合ファイナル (エキシビジョン)

第2日目【11月15日(日)】

- 5) 9:20 ~ 12:40 BR 男子、BR 女子
- 6) 13:15 ~ 13:45 BR 男子個人戦ファイナル
- 7) 14:20 ~ 14:50 BR 女子個人戦ファイナル
- 8) 15:00 ~ 閉会式

※ファイナルは参加者数等の状況によっては中止となる場合があります。
 その場合、閉会式の時間が繰り上がります。

3 場 所 大分県立庄内屋内競技場

4 競技規則 各種目とも 『ライフル射撃競技規則集 (第2巻) 最新版』 による。

- 5 競技種目
- (1) エア・ライフル立射 6 0 発競技 (男子)
 - (2) エア・ライフル立射 6 0 発競技 (女子)
 - (3) ビーム・ライフル立射 6 0 発競技 (男子)
 - (4) ビーム・ライフル立射 6 0 発競技 (女子)
 - (5) ビーム・ピストル 6 0 発競技 (男子)
 - (6) ビーム・ピストル 6 0 発競技 (女子)
 - (7) エア・ピストル 6 0 発競技 (男子) 【オープン競技】
 - (8) エア・ピストル 6 0 発競技 (女子) 【オープン競技】

6 競技方法 (1) 団体戦、個人戦、個人戦ファイナル競技の実施の有無は以下の通り。

	団体戦	個人戦	個人戦ファイナル競技
エアライフル競技	実施	実施	
ビームライフル競技	実施	実施	実施 (8名)
ビームピストル競技		実施	未定 (出場数が8名以上の場合)
エアピストル競技		オープン競技	

- (2) 団体戦は男女各選手3名でチームを編成し、1校各1チームとする。
AR競技とBR競技の団体は、同一選手が兼ねることはできない。
- (3) エアライフル・ビームピストル種目は本戦得点で、ビームライフル種目はファイナル得点で順位を決定する。
- (4) 個人戦には、複数種目に同時にエントリーすることができる。
- (5) エアピストルはオープン競技で実施する。

総合優勝校の決定方法

種目	団体戦	個人戦
エアライフル競技	1位：12P、2位：6P	1位 5P ～ 5位 1P 各1Pきざみ
チームライフル競技	1位：12P、2位：6P	1位 8P ～ 8位 1P 各1Pきざみ
チームピストル競技		1位 5P ～ 5位 1P 各1Pきざみ

それぞれ男女ごとに、上記のようにポイントを与え、合計ポイントの高い高校が総合優勝とする。

同点の場合は、次の順で上位校を決定する。

- ① 団体戦の合計ポイント数
- ② 個人入賞者数（全種目）
- ③ 個人順位合計のポイント（少ない方が上位）
- ④ 団体選手の個人戦獲得ポイント合計（多い方が上位）

- 7 参加資格 「令和8年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参加制限 団体戦は、選手3名・補欠1名。申込用紙の「団体戦」欄に「選手」「補欠」と明記のこと。
- 9 参加申込 No.32 様式で男女は別紙に作成し、各校ごとに学校の承認を得て郵送する。なお、承認を得た申込電子データは、期限内に下記あてメールでも送信する。
宛 先：nobata-takuhiro@oen.ed.jp 野畑 卓宏（大分県立大分雄城台高等学校）
提出期限： 令和8年11月1日(日)
- 10 参加負担金 選手1名につき、加盟校600円、非加盟校1,000円を大会当日の受付にて納入すること。
- 11 出場権の取得 (1) 令和8年度（第11回）九州高等学校ライフル射撃競技新人大会への出場権
団体戦：各種目上位2チームが出場権を得る。
個人戦：各種日本戦上位5名が出場権を得る
- 12 連絡事項 (1) 銃器・弾薬は各自携行し、運搬・携帯・保管について特に留意すること。
(2) 鉄砲所持許可書または年少撃資格認定書、日ラ会員証、射手手帳を携行すること。
(3) 銃には、有効な検定シールを貼っておくこと。
(4) 年少者射撃資格銃は、銃の射撃指導員が必ず同行すること。
(5) ゼッケンは横判（学校名、氏名記入）を各自背中につけること。
(6) 危害予防については各自が十分に留意すること。